

What's GASPPA?

GASPPA設立趣旨

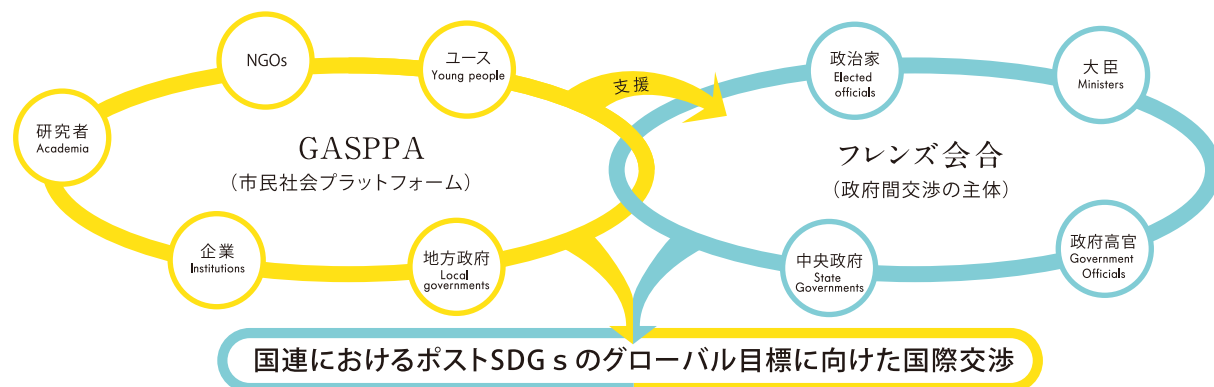
GASPPAは、核兵器を持続可能性の観点から問題提起し、
2030年以降の次期国連グローバル目標（ポストSDGs）において、
核兵器廃絶が目標のひとつとして位置付けられることを目指して国際社会に働きかけを行っています。

- 主な活動
- 1 核兵器問題が社会・経済・環境など多方面に及ぼす影響を持続可能性の観点で捉え、政策提言を策定して国際社会に問題提起を行ったり、キャンペーン活動などを通じた発信を行う。
 - 2 外交交渉に携わる政府関係者を集めた「フレンズ会合」の設立及びその活動に対して支援を行う。このグループのメンバーは、それぞれが関係を有する政府に対し、「フレンズ会合」への加入を働きかける。
 - 3 国連がこれまでに発表した「軍縮アジェンダ」及び「私たちの共通の課題 Our Common Agenda」を市民社会の側からサポートしていく。また今後、未来に関するサミット（Summit of the Future）において策定される新たな平和アジェンダ（New Agenda for Peace）に、「2045年までの核兵器廃絶の達成」が盛り込まれ、ポストSDGsに向けた国際的な潮流を確実なものにしていくよう、働きかけを行う。

How GASPPA Works

GASPPAの戦略

2030年に現行のSDGs（持続可能な開発目標）が終了した後、
新たに設けられるであろう国連グローバル目標に、「核兵器廃絶」が位置付けられることを目指して活動します。
市民社会の賛同者のためのプラットフォームとなり、国際的な交渉に参加します。
また、こうした活動を国レベルでも進め、賛同国をネットワーク化した「フレンズ会合」の立ち上げを支援します。
この2つのルートを通じて働きかけ、核兵器廃絶が次期国連グローバル目標に明記されることを目指します。



GASPPA参加者登録

世界24ヶ国から34団体、59名の個人がGASPPAに参加（2022年11月現在）

参加国：オーストリア、カンボジア、カメルーン、カナダ、コートジボワール、チェコ、エチオピア、ドイツ、インド、イタリア、ジャマイカ、日本、カザフスタン、マレーシア、オランダ、ナイジェリア、パキスタン、韓国、スリランカ、スイス、ウガンダ、アラブ首長国連邦、イギリス、アメリカ

GASPPA参加について

設立趣旨書に賛同いただける方は、個人、団体どなたでもグローバル・アライアンス（GASPPA）に参加できます。
下記のウェブサイトのリンクから申込フォームにアクセスし、必要事項を入力してください。
メンバーリストに登録し最新情報をお届けします。

詳しい情報はこちらから



GASPPA事務局：へいわ創造機構ひろしま（HOPE）

住所：広島県広島市中区基町10-52

電話：082-513-2466

Eメール：peacemarketinghiroshima@gmail.com

Webサイト：https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimaforpeace/about-sustainable-future.html

このパンフレットは
へいわ創造機構ひろしま（HOPE）が
制作しました。



核兵器廃絶なくして
真に持続可能な未来なし

グローバル・アライアンス

『持続可能な平和と繁栄をすべての人に』

Global Alliance “Sustainable Peace and Prosperity for All”

GASPPA

持続可能な未来のために核兵器廃絶を

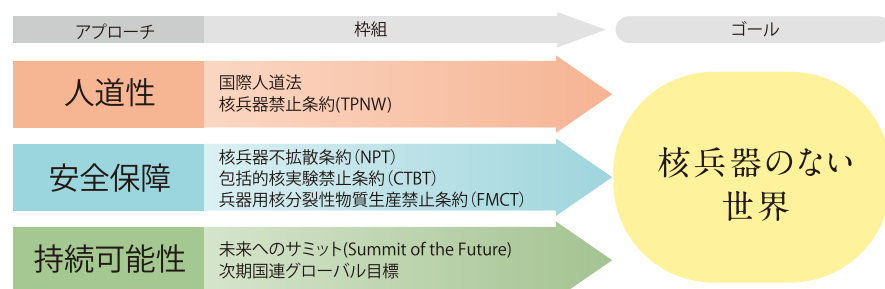
地球上のすべての人々が次世代にわたって、平和と繁栄を享受できる未来を実現していくことが、わたしたちの願いです。

持続可能な未来は、多方面から多くの人々の協力があって初めて可能になります。

核兵器の問題は、これまで「安全保障・法的問題」と「人道性・倫理的問題」として扱われてきました。

わたしたちは「持続可能性」を核兵器の問題を考える際のあらたな規範として打ち立て、

平和と繁栄が続く未来を目指します。



地球や人類が「持続不能」な破局への限界点を超える前に、持続可能な未来への転換が、いま必要です。



核兵器と持続可能性のつながり

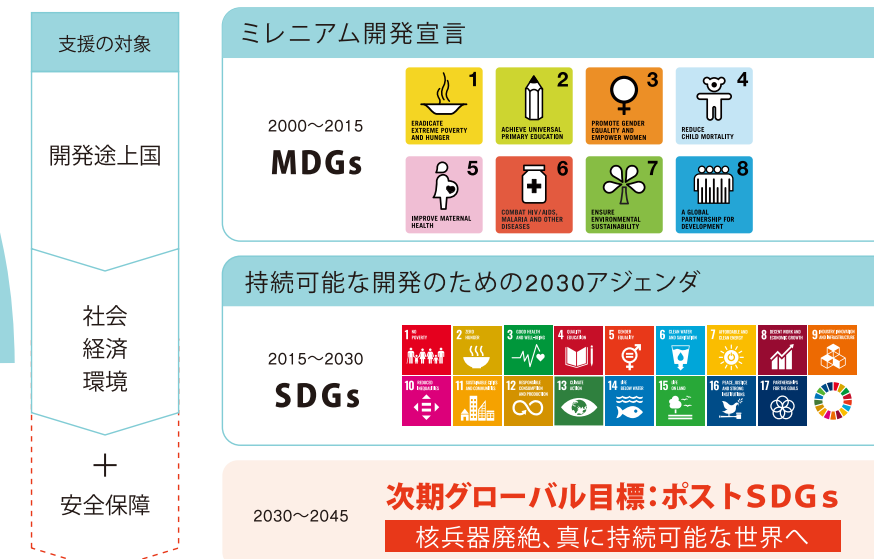


グローバル・アライアンス (GASPPA)では、多様な関係者の知見にもとづき、問題のつながりを可視化し、核兵器がどれほど持続可能性を阻害しているか、わかりやすいナラティブにして発信していきます。

国連グローバル目標のあゆみ

核兵器のない持続可能な世界の実現に向けて

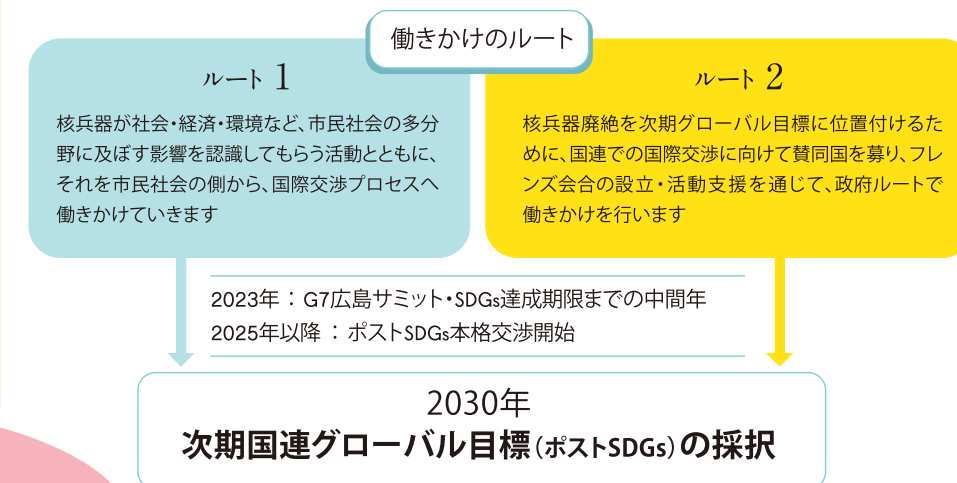
「真に持続可能な未来に核兵器は必要ない」というさらに多くの声を集め、国際的な規範意識と機運を高めることが、核兵器保有国を含むすべての政府を動かす大きな力になります。次のグローバル目標に核兵器廃絶を位置づけることで、すべての国々が、核兵器のないよりよい未来に向かっていくことを後押しします。



GASPPA:グローバル・アライアンス

持続可能な平和と繁栄をすべての人に

すべての人に「持続可能な平和と繁栄」を確約するために、核兵器廃絶を国連の次期グローバル目標に位置付けることを目指して、2022年4月にグローバル・アライアンス (通称GASPPA) を設立しました。

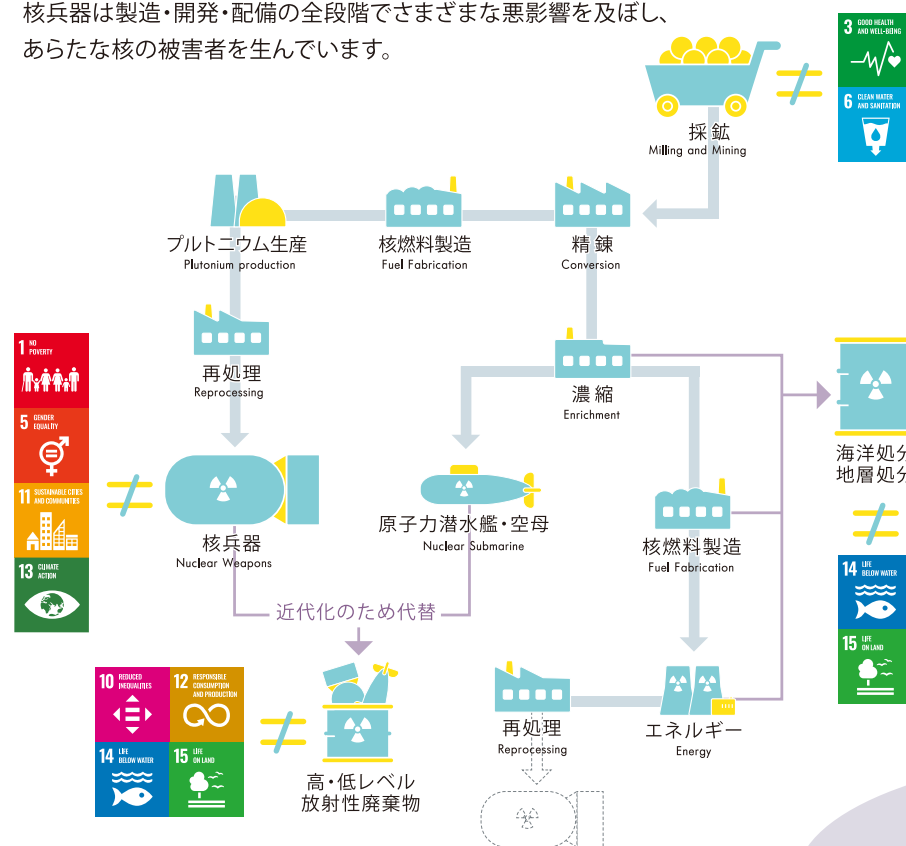


核兵器を廃絶するには

1. 核兵器そのものをなくす
2. あらたな核の被害者をつくらない
3. 核兵器に依存した体制を変える

持続可能性を阻む核兵器のサイクル

核兵器禁止条約にも明記されているように、核兵器は製造・開発・配備の全段階でさまざまな悪影響を及ぼし、あらたな核の被害者を生んでいます。



核兵器を持つことが、地球とわたしたち自身の持続可能性をどれほど危険にさらしているか、多くの人々にこの「核兵器と持続可能性のつながり」を知ってもらうことが急務です。